

東金市教育委員会会議録

令和元年9月（定例会）

1. 日 時 令和元年9月25日（水） 午後1時30分開会
2. 場 所 東金市役所 401会議室
3. 招 集 者 東金市教育委員会 教育長 飯田 秀一
4. 議 題 議決事項
第1号議案 令和2年度東金市立幼稚園の園児募集について
第2号議案 源小学校の統廃合について

報告事項

1. 東金市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
2. 専決処分した後援申請について
3. 諸報告

5. 出席委員 教育長 飯田 秀一
委員（教育長職務代理者） 戸田 俊雄
委員 松寄 光孝
委員 鈴木 正明
委員 石田 絢子

6. 出席職員

教育部長	醍醐 義幸	教育総務課長	井坂 靖
学校教育課長	上之菌和朗	生涯学習課長	鈴木健太郎
スポーツ振興課長	佐久間英郎	中央公民館長	廣瀬 惣一
東金図書館長	片岡 一徳	教育総務課主幹	飯塚 好男
教育総務課庶務係長	川崎 一郎	教育総務課主査	横山 修平

◎開 会

午後1時30分、飯田教育長より開会が宣告された。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

飯田教育長より戸田委員を指名した。

◎日程第2 前回の会議報告

飯田教育長より令和元年8月20日開催の東金市教育委員会会議定例会の会議録につ

いて意見を求めた。

全員異議なし

◎日程第3 議件

○第1号議案 令和2年度東金市立幼稚園の園児募集について

飯田教育長より令和2年度東金市立幼稚園の園児募集について事務局に説明を求めた。
学校教育課長より令和2年度東金市立幼稚園の園児募集について説明した。

<説明概要>

例年通りのスケジュールにより11月1日から園児の募集を行う。募集数については本年度在籍している園児はそのまま進級するものと想定し、各年齢の定員数から在籍中の園児を引いた数を見込み数として示した。進級とともに保育園に通うようになり、希望していた子ども園に漏れる等の理由により各幼稚園においては今後多少の変動が見込まれるが、これらの数を踏まえて最終的に11月に募集人数を確定させる予定である。

鈴木委員

今年は定員をオーバーした幼稚園はなかったが、来年の園児数についての見通しがあれば教えてほしい。具体的に言うと公平幼稚園の園児数が多い状況の中、兄弟で同じ幼稚園に行けなかったり、近隣の子どもが最寄の幼稚園に行けなかったら困ると思うのでお聞きした。

学校教育課長

公平幼稚園は園児数が市内で一番多い。各幼稚園は年齢ごとに定員を定めているが、各年齢の定員を超える応募があったとしても、それぞれの年齢の定員を合計した最大定員に各幼稚園の応募者数が収まるのであれば園児を受け入れる。

全員一致で原案どおり可決した。

○第2号議案 源小学校の統廃合について

飯田教育長より源小学校の統廃合について事務局に説明を求めた。
学校教育課長より源小学校の統廃合について説明した。

<説明概要>

源小学校問題検討協議会の進捗状況については、これまでも報告してきたところだが、協議会としての意志決定がなされたことから、本日はそれを踏まえた教育部としての今

後の方向性、基本的な考え方について示し、それに対する見解を伺いたい。今一度、これまでの経緯について整理していきたい。

平成27年1月に文部科学省より「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引の策定について」が通知された。その中に「複式学級のある小中学校については速やかに統合等を検討する必要がある」との記載が見られた。これを受けて、平成27年12月に東金市教育委員会から東金市立小学校・中学校の適正規模、適正な通学距離、適正配置について東金市学校教育問題検討懇談会に諮問し、平成29年3月に東金市学校適正配置報告書の中で3つの答申を受けた。

1つ目の「適正な学校規模」については、小中学校ともに1校当たり12学級以上であること。2つ目の「適正な通学距離」については、小学校が片道概ね4キロ以内、中学校が片道概ね6キロ以内であること。3つ目の「適正配置」については、複式学級のある小学校及び今後の児童生徒の減少により複式学級が見込まれる小中学校は、学校統合等により適正規模に近づけることを速やかに検討する必要があることが示された。ただし、小中学校には地域の伝統や歴史がある。また、地域のシンボル、コミュニティの中心、地域防災の拠点という機能があり、これらの機能の代替については東金市公共施設全体の中で検討すべきとの答申が示された。

これら3つの答申を受けて、東金市教育委員会の基本的スタンスを次世代を担う児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に捉え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために、平成29年度より10年間の学級数や児童生徒数の下で具体的にどのような教育上の課題があるのか、また、地域コミュニティの核としての役割等について総合的な観点から分析を行い、保護者や地域住民の方々と共通理解を図りながら学校の適正配置について検討を進めるとした。

ちなみに平成29年度から10年間の推計によると、既に複式学級が存在する源小学校以外に複式学級が出現する小中学校はなかった。平成29年5月に源地区選出の市議と区長会長に対して今後の源小学校について検討する協議会を源地区に立ち上げることを要請したところ、平成30年1月から令和元年8月までの1年7ヶ月にわたって協議が進められた。その結果、8月25日に開催された協議会において全会一致で源小学校の統廃合やむなしとの結論が出された。8月26日には市長部局に対しても、源地区源小学校問題協議会にて源小学校の統廃合やむなしとの結論が出されたことを報告した。

これらのことを総括して教育委員会としては、子どもたちにとって複式学級の解消は不可避であるとの立場から、1点目として源小学校の統廃合やむなしと考え、2点目として統合先については、中学校の学区を考慮すると日吉台小学校との統合が妥当であるとする。加えて統合時期については、現在在籍する児童や保護者、就学前の子どもを持つ保護者の不安を最小限にすべく、そして何よりも現在在籍する児童に対する教育活動の更なる充実といった視点を考慮すると一日も早く、よりスピーディーに統合を進めていくことが肝要であるとする。については3点目として、統合時期については最短で

令和3年4月を目途に準備を進めていく。以上の3点が事務局としての考えであり、基本的な方向性について承認いただけたら源小学校適正配置基本計画を策定し、次回の教育委員会議に諮りたいと思う。その後、市議会への報告・審議を経て、源地区と日吉台地区の代表者で構成される準備会を立ち上げてもらい、それぞれの地区にも基本的な方向性を報告し、統合に向けた準備を進めていきたい。

鈴木委員

地区の意見を吸い上げながら意思決定できたことは素晴らしいことだと思う。提案については3点とも賛成である。なお、統合先が日吉台小学校となるのは同じ北中学校区であるので妥当だと思う。

石田委員

源地区と日吉台地区の双方で構成される準備会を立ち上げるとのことだが、日吉台側には既にアプローチをしているのか。

学校教育課長

日吉台に対してはまだアプローチをしていない。これまでの1年7ヶ月における協議会の中では、同様の質問が出たことが過去にあり、教育委員会としては日吉台小学校との統合を想定しているという回答をした経緯はある。

戸田教育長職務代理者

今回、地区の協議会で意思決定されて方向性が示されたということは大変良かったと思う。

松寄委員

日吉台地区の住民の一人としてとしては大歓迎である。北中学校との関係においても統合に関して反対が出ることはないのではないかとというのが感想である。源小学校の再利用については地区から何か要望を受けているのか。

教育部長

協議会に参加している中で旧校舎の再利用についての質問は出なかったが、通学の足となるバスの確保は必須条件との意見が多かった。最初は統合反対派が多かったが、最後は子どもたちのことを考えた上での意思決定となった。東金市として源小学校という施設を無駄にすることはできないので、教育委員会だけでなく市長部局を含めて産業振興、商工観光、コミュニティ施設等の観点からの利活用を源地区の要望を受け入れながら今後検討していくこととなる。

石田委員

スクールバスを検討されるとのことだが、統合についてご理解をいただいた地元の方々のためにもスクールだけではなくて地域住民の方が利用できるような臨機応変の効いた交通手段の対応ができればよいと思う。

教育部長

源地区のバス協議会に対して1200万円ほどの補助金を出して運営をお願いしている。また、源地区の路線対策として企画課で500万ほどの予算を持っている。原資については約1700万円と現物のスクールバスが2台ある。市内全域に循環バスを走らせるという市長の公約もあることから、源地区の利便性を考えて日吉台小学校と北中学校までバスが来るのであれば、これらのバスを東金駅まで走らせることも考えられる。源地区の循環バスは朝と夕方は児童が乗っても日中は空いてしまうので関係機関と協議しながら源地区の循環バスとして運行していくという案もある。

飯田教育長

この3点を含めた統廃合案が今日決定するという事は大きな意味があり、これを基にしながら今度は統合に向けて市長部局も交えた具体的な計画段階に突入していくという段階となる。これまでは源地区の意向をできるだけ一本化していくという段階であったが、その中で基本的なことは子どもたちを大事にすることと、どんなに時間がかかっても源地区の意見を尊重しながら進めていくということであった。今後は第2段階に入る。

教育部長

どのようなスケジュールで進んでいくかという目標については、来年4月に入学される児童の保護者には早く知らせてあげる必要がある。令和3年に統廃合となることを知っていたならば初めから日吉台小学校に入学したかったという保護者がいるかもしれない。入学手続きに間に合うように情報提供は早めにしないとイケない。

学校教育課長

教育委員会から各家庭に就学指定を出すまでに方向性を示せばと思う。年明け早々に情報提供するためには12月議会までには取りまとめておきたい。

全員一致で原案どおり可決した。

○ 1. 東金市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

学校教育課長

10月より3歳児から5歳児までのすべての子どもを対象に保育園、幼稚園の利用料が無償化される。これまでは私立幼稚園に対して国の制度により幼稚園就園奨励費という補助金が交付されていた。10月以降は無償になるのでこの制度はなくなるが、本年度の4月から9月までの費用を算定して私立幼稚園に交付するために制度を改正した。東金市内の私立幼稚園、いわゆるユニヴァーサル雙葉学園やときがね幼稚園は既に国に申請して補助金を受けているが、東金市に在住していて大網白里市の季美の森幼稚園に通っている子どもや八街市の幼稚園に在園している子どもがいて、そちらの園についてはこの制度を利用していない所もあると聞いている。このため、制度を利用していない園に対して東金市内に在住する園児の人数分の利用料を支払うための補助金交付要綱の一部改正である。

○ 2. 専決処分した後援申請について

教育総務課長

専決処分した後援申請4件について資料に沿って説明した。

○ 3. 諸報告

(1)飯田教育長

教育長行事予定(9月・10月)について資料に沿って説明した。

(2)教育部長

令和元年第3回東金市議会定例会の概要について説明した。

台風15号による教育施設への被害状況について概要を説明した。

(3)教育総務課長

台風15号による教育施設への被害状況について資料に沿って説明した。

<休憩：午後2時35分～午後2時45分>

(4)学校教育課長

学校教育課関係行事予定(9月・10月)について資料に沿って説明した。

(5)生涯学習課長

生涯学習課行事計画(9月・10月)について資料に沿って説明した。

(6)スポーツ振興課長

スポーツ振興課行事計画(9月・10月)について資料に沿って説明した。

8月に開催されたスポーツ大会の結果について資料に沿って説明した。

(7)中央公民館長 公民館行事計画(9月・10月)について資料に沿って説明した。

(8)東金図書館長 図書館行事計画(9月・10月)について資料に沿って説明した。

◎閉 会

午後3時05分、飯田教育長より閉会が宣告された。